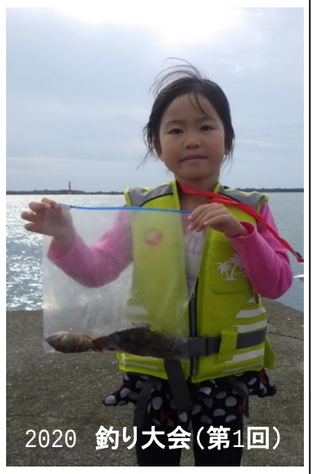
室戸岬・室津・岩戸 漁港・港湾・海岸新聞

あの日・あの時（育て・釣る）

2014　稚魚放流（室戸荷捌き）


2020　釣り大会（第1回）

室津港周辺では、子供たちが参加した海の豊かさを守るイベントがあります。アオリイカの産卵床設置、稚魚の放流体験（JF高知室戸統括支所）、岸壁での釣り体験（室戸市観光協会）など、子供たち（当時）の心に今も残っているといいですね。

第5回　釣り大会で、岸壁の釣り人から室戸岬を望む

ジオパークの文化サイト　生物共生型港湾構造物

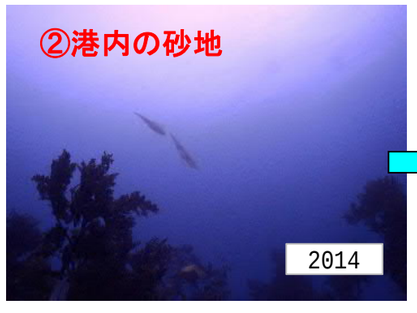
岸壁で釣り人の一人が、何もない砂地に構造物が島のようにできると、藻や小魚はそこに集まると語っていました。室津港は自然を生かした特徴ある暮らしを見学・体験するエリアになる可能性を秘めています。

事前復興にもブルーインフラ

人工の藻場（枝）にアオリイカの卵

室津港内の生物共生実験ポイント

先進地視察時の海女さんたち



人工の藻場にアオリイカが来た

ブロックに繁茂、竹穴には小魚

2年で浸食を始める挿入間伐材

避難港の先進地輪島では、海女さんが海藻を増やし活路模索との報道（高知新聞）がありました。同じ避難港整備中の室津では、藻場再生に取り組んだ経緯があります。

中長期的イベント拠点

イベントの拠点づくり、工事の拠点づくりは、設置撤去がハードルとなります。間伐材のコンテナハウスを仮設し、中長期的に活用すれば、労力・費用が節約、木材需要の試行になります。

荒天時も慌てない構造を志向

今回の発行所
みなとまちづくり共同体

資料協力

前号迄の主な配布先
- 漁協（室戸岬・室戸）
- 室戸岬漁港周辺常会
- 室戸ドルフィンセンター
- 海の駅とろむ
- 室戸青少年自然の家
- 保育園（岬・室津・浮津・元）
- 小学校（岬・室戸・元）
- 室戸中学校
- 室戸高校
- 岩戸海岸背後地常会
- みなとまちづくり共同体
- 室戸市
- 高知工科大学
- 安芸市
- 芸東森林組合
- 元、天然資源回復協議会
- 室戸市観光協会